

覚醒医療への誘い 「真我に目覚めて生きる」

— 全ては一つ、ホロニック生命“永遠のいのち”を生きる —

開催日時: 2022年1月23日(日) 13:00~16:30

会場: シティ音羽 2階会議室(下記アクセス、案内図参照)

参加費: 覚醒医療ネットワーク会員2000円(研究員無料) / 一般参加者3000円(当日会場支払)

後日、当日の動画を配信します(動画視聴代金は参加費と同額です)お申込下さい

発表1(40分)

発表者: 米田 晃 人間科学研究所所長、覚醒医療ネットワーク事務局長

テーマ: 「覚醒医療の普及と実践」について

内容: 癌をはじめ、色々の病気が増大しています。人はどうして病気になるのでしょうか? それは、人間の自我意識によって潜在的に溜めこんだ色々の想念が、体に症状として現れているのです。病は覚醒へのメッセージです。このことに気づいて真我に目覚めれば病は自から治癒します。覚醒医療は医療を通して覚醒をサポートします。ホロニック生命“永遠のいのち”を生き通しましょう。



発表者プロフィール: 1937年、岡山県生まれ、幼少の頃から物理現象に興味を持ち探求、機械工学、電子工学を学び、1961年、(株)日立製作所に入社、25年間コンピュータ開発に従事。種々の体験から創造性開発の研究を始め、1987年人間科学研究所を設立。生命と人間の本质研究、気の研究、超常現象や見えない世界(意識、魂、波動、等)の研究、人間科学研究会、「覚醒ネットワークの集い」開催、講演、他種々の活動を展開する。21世紀を境に人間が進化する「高次元メタ文明」へのアセンションを予見、意識の進化「意識科学」を提唱し意識と病発症の関わり、意識と病発症の関わり、生命の本质を研究。「覚醒医療ネットワーク」設立に尽力。著書に『高次元ミロクのメタ文明』(たま出版)。『意識科学』(ナチュラルスピリット)がある。

発表2(80分)

発表者: 中 ルミ 国際ホリスティック看護協会理事長、(株)ホリスティックメディカル代表取締役

テーマ: 覚醒を促すケアとは

内容: 看護師の役割について、アメリカ看護学者マーガレット・ニューマンは著作『拡張する意識としての健康』の中で、その前書きに「看護師の責任は人々を健康な状態にしたり、彼らが病気になるのを防ぐことではなく、より高いレベルの意識へと移るために人々が自分の内部の力を認識できるように援助することである。」と述べている。日本におけるホリスティックケアの実践として、ルミナスの和訪問看護ステーションにおける実際のケアの事例をもとに覚醒を促すケアについて述べる。



発表者プロフィール:

千葉県医療技術大学 第一看護学科卒業。元科学技術庁 放射線医学総研究所にて癌看護に務める。海外研修後、心と体、潜在意識の関係性や、心と体と魂の三身一体のホリスティック医療に興味をもち、セコム訪問看護ステーションでの勤務を経て、緩和ケアとして補完代替療法であるアロマやヒーリングなどを取り入れ愛中心の寄り添いのケアの提供の実践舞台としてルミナスの和訪問看護ステーションを立ち上げ、普及に努めている。また、自分らしく生きる豊かな人生を分かち合う、ホリスティックケアの普及に向けて、セルフケア、大切な方へのケアが提供できる、ホリスティックナース・セラピストの育成に向けてルミナス・ホリスティックケア・アカデミーを構築中。

<https://npo-ihan.net/academy/>

質疑応答・討論 (60分)

【お申込・お問合せ】 右の QR コード又は下記 URL からお申込ください。

(URL) <https://1lejend.com/stepmail/kd.php?no=chjveA>

あるいは、覚醒医療ネットワーク事務局米田晃

お申込 QR コード



Email: akr-yoneda@nifty.com 携帯 090-5511-9140 までご連絡ください。

* 会場案内: シティ音羽 2階会議室 東京都文京区音羽 1-15-15

地下鉄有楽町線「護国寺駅」5番出口から音羽通りを江戸川橋方面(護国寺と反対方向)に道路左側を徒歩3分
光文社の看板を過ぎ3件目のロイヤルホストの看板のある建物がシティ音羽アーチ型エントランス入って右に集会室入口あり。階段がエレベーターで2階に。

覚醒医療ネットワーク ホームページ <http://kakuseinet.com/>

覚醒医療ネットワーク ホームページ <http://www.kakusei-medical.net>(本 HP をご覧ください)

